

TOBU

マンスリー

# とーぶ

# 5

May/2024  
No.899

マンスリーとーぶ 検索



インタビュー  
俳優 劇作家 小説家 **成井 昭人**  
新・駅前そぞろ歩記  
**赤城**  
暮らしの SPICE  
緑茶スイーツの簡単レシピ

# 莫トシの

# SPRING

## 緑茶スイーツの簡単レシピ

5月から6月は新茶が出回る、まさにお茶の季節です。

緑茶はポリフェノールの一種、カテキンを多く含みますが、これには血糖値や血圧の上昇を抑えたり、

体脂肪低下の効果もあるといわれています。

さらにビタミンCも多く含まれています（ちなみに紅茶にはゼロ）。

飲むだけでももちろんヘルシーですが、今回は緑茶を

使った、お手軽な緑茶スイーツの作り方をご紹介します。

### 用意するもの

#### 緑茶ゼリー (2~3人分)

- お茶 カップ1 1/2
- 砂糖 大さじ2 1/2
- 粉ゼラチン5グラム  
(小さじ1 2/3)

#### 緑茶プリン (2~3人分)

- 茶葉 大さじ2
- 牛乳 カップ1 1/2
- 卵 1コ
- 砂糖 大さじ2 1/2
- バニラエッセンス  
2~3滴 (あれば)
- お好みで  
ホイップクリーム  
黒みつ

など

- 鍋
- 計量カップ
- 計量スプーン
- 泡立て器
- 耐熱容器
- ふきんかキッチンペーパー
- こし器
- ゼリー、プリンを入れる  
容器

など

### お好みでカラメルソース

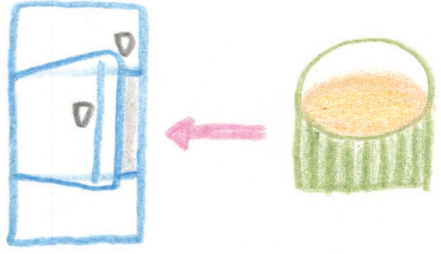
- 砂糖 大さじ1
- 水 小さじ1/2
- 湯 小さじ1/2

1 耐熱容器に砂糖と水を混ぜてなじませる。レンジ600Wで1分加熱し、焦げ色がつくまで様子を見ながら少しずつ追加で加熱する。

2 色がついたら容器を取り出し、お湯を加えて容器をゆらして混ぜる。混ぜられない時はレンジで10秒ほど加熱する。

緑茶ゼリー

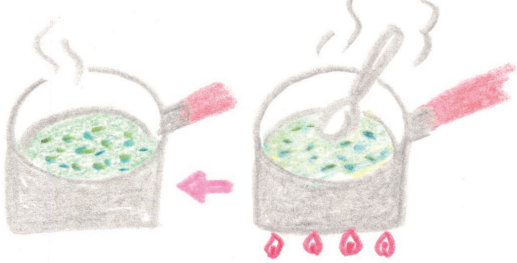
2 粗熱がとれたら容器に入れ冷蔵庫で1時間以上しっかり冷やし固めたら、でき上がり。



1 鍋にお茶、砂糖、ゼラチンを入れて中火で加熱する。沸騰する前に火を止める。(沸騰させると固まりにくくなるので注意)



2 フツフツしてきたら、沸騰させないようにスプーンなどでかき混ぜ、きれいなうす緑になったら火を止める。



1 鍋に牛乳、茶葉、砂糖を入れ中火で加熱する。加熱している間に卵をといてバニラエッセンスを入れる。



緑茶プリン

3 人肌ぐらいに冷めたら、こし器にふきんかキッチンペーパーを敷いて2をこす。この時、茶葉を絞るようなイメージで。

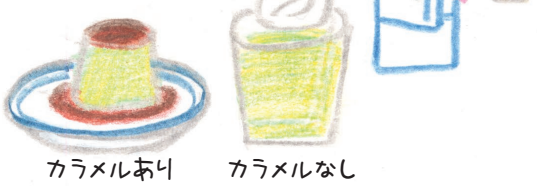


4 3を卵と混ぜる。(カラメルを入れるときはこの時点で器に入れる) 混ぜたプリン液をこし器でこして器に入れる。

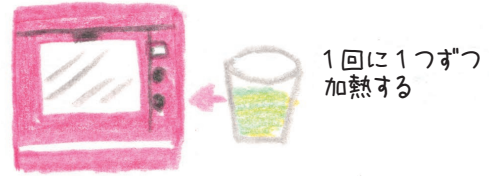


6 粗熱がとれたら、冷蔵庫に入れて2時間ほど冷やしてでき上がり。

お好みで生クリームなどを添えて!



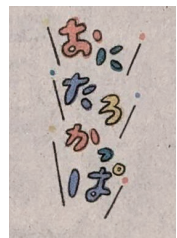
5 レンジに入れて600Wで1分30秒から2分加熱する。表面全体がプクプクしてきたら加熱を止める。全体が固まらなくても余熱で固まる。ゆるすぎる場合は再度30秒から1分ぐらい加熱する。



俳優・劇作家・小説家

# 成井昭人

さん



**INFORMATION**

海辺の小さな漁村で暮らす「たろ」君一家のユーモラスな日常を描いた成井昭人さんの小説『おにたろかっば』現在『読売新聞』夕刊にて好評連載中！



写真=柴田愛子/浅草東武ホテル、金龍山浅草寺

\*注 いぬいichirou(1916~2010) 演出家。母方の祖父は新派の名優 初代喜多村緑郎。1937年岸田國士、岩田豊雄、久保田万太郎らと「文学座」の創立に参加し、晩年はその代表も務めた。新劇だけでなく新派、歌舞伎、商業演劇など幅広い分野で演出を手がけた。

祖父に「文学座」の代表を務めた演出家  
成井市郎氏を持つ成井昭人さん。俳優、  
劇作家、小説家として、幅広い分野で活  
動を続けてきた多才な表現者は、新たな  
杳くろくを履いて、どこへ向かうのだろうか…

### 祖父に縁ゆかりの文学座研究所へ

——いつ頃から演劇にご興味を？

成井 最初は映画が好きで、中学生の頃から色々観ていて、いつか映画の脚本を書きたいなと思っていました。

——それが演劇の方へ進まれたのはお祖父様※(成井市郎)の影響ですか？

成井 そう思われがちなのですが、それはあまりなくて、脚本の勉強しようと思いついて、いまはもうないので、当時玉川大の文学部にあった演劇専攻というコースに進んで、自然と演劇の方へ。  
——その頃から大学で演劇活動を？

成井 授業でも芝居はやるのですが、それとは別に自分で書いた脚本で、学外で友人たちとやったのが最初で、それがず

## Human Report

…… 人間大好き ……

420

っと続いているような感じですね(笑)。

——卒業後に「文学座」の研究生になられたのはお祖父様の影響ですか？

成井 そうですね。学生時代から授業で岸田國士や久保田万太郎の脚本を読んでいたから、脚本を書くからには、ちゃんと日本の演劇について学んでおきたいと思いついて。まあそれには「文学座」が一番身近だったので。

——お祖父様は喜ばれたでしょうね。

成井 ええ、とても喜んでくれました。文学座では演劇の基礎を学びました。楽しいところでしたが、まだ研究生ですから自分で脚本を書きたいと思っても、なかなか余裕もなくて、このままでは…という思いがどこかあって、祖父に相談したのです。祖父も理解してくれて、一度離れた方がいいだろうと言ってくれて、

●いぬいあきと  
1971年東京生まれ。95年玉川大学文学部演劇専攻卒業後、文学座付属研究所に入所し、文学座研究生となる。同所を退所後、97年にパフォーマンス集団「鉄割アルパトロケット」を旗揚げし、脚本も担当。2008年に小説『鮎のためいき』で作家デビューし、09年『まずいスープ』、11年『びんぞろ』、12年『ひつ』、13年『すっぽん心中』、14年『どろにやいと』が立て続けに芥川賞候補となり、16年『のろい男 俳優・亀岡拓次』で第38回野間文芸新人賞を受賞。その間、俳優としても映画、テレビに活躍の場を広げる。現在、読売新聞夕刊に小説『おにたろかっぱ』を好評連載中。

2年ほどで退所しました。その後、2017年になってから、「文学座アトリエの会」で上演する山本周五郎原作の『青べか物語』の脚色をやらないかと声をかけてもらいまして、19年の公演では脚本を任されて、『いずれおとらぬトントントン』という芝居を書き下ろしました。一度離れていましたから、まさか呼んでくださると思ってもみなかったの、嬉しかったですし、良い体験でした。

——お祖父様のご存命なら、さぞ喜ばれたでしょうね。

成井 そうですね、まさか孫が「文学座」の脚本を書くとは思わなかったでしょうから(笑)。

### 原点はお団子付きの旗揚げ公演



沓が行く。

〜根津宮永町

フォトエッセイ集  
『沓が行く。』(左右社刊)  
沓を減らして、各地を歩き回って著  
者が撮った何気ない風景の数々と、  
それに添えられたショートエッセイ  
に、思わずクスッとさせられる。

——その後、パフォーマンズ集団「鉄割アルバトロケット」を結成されるわけですね。

成井 ええ、文学座を退所した翌年ですから、97年ですね。ちゃんとした芝居をやりたいというわけでもなく、自分で脚本を書いて、何かやってみたくて、大学の友人や文学座の研究所で知り合った仲間たちと始めたのです。

——どこで上演されていたのですか？

成井 まだ劇場を借りてやるほどお客様を呼べないし、資金もないですしね。安く借りられる場所を探して、文京区根津の宮永会館という、区の集会所のようなところを見つけてましてね。2階に上ると舞台があって、座敷になっていて、ちょうどいい広さなのです。

——昔の根津宮永町ですね。

成井 根津権現に近い住宅街にあって、格安なのですが、劇場ではないので、上演の当日しか借りられないのです。必然的に稽古に時間をかけるような長い芝居はできないので、短い寸劇風のものをつなげていくというようなかたちでやっているうちに、どんどん訳わからなくなつて、終いにはネギで殴り合ったりするよ  
うな舞台になっていった(笑)。



——それが「アルバトロケット」のスタイルとなった。

成井 宮永会館では随分長いことやつていましたが、あの時間がなければいままなかつたと思います。あそこで自ら脚本を書いて仲間と演じてきたことが、いまの自分につながっていると思います。

——やりたいことが見つかって、歯車が回り出したのですね。

成井 世間一般の成功ではなかったけど、やっつていこうという決心がついたので、チケットを買ってくれたお客様には、その頃アルバイトをしていた浅草の団子屋さんのお団子付きという特典がありました、これが好評でした(笑)。

——浅草はお祖父様の師匠である久保田万太郎の生まれ故郷ですね。

成井 ええ、祖父も浅草が好きで、師匠と行った飲食店でご馳走してくれたりして、幼い頃からよく来ていました。学生時代には浅草で友人ができて、お団子屋さんでアルバイトもするようになって、やがて来るのも面倒になって、西浅草の本願寺の裏手にしばらく住んでいました。

——その頃の浅草体験が小説『ぴんぞろ』に結実するわけですね。

成井 そうですね、あの小説は浅草で暮らさなければ書けなかった愛着のある作品です。物語は主人公が地下鉄銀座線田原町駅の階段を上ると、仏壇屋の線香の香りと隣の大衆食堂のソース焼きそばの匂いとが混じり合つて、漂ってくるというシーンから始まるんですが、あのイントロは、大好きなピートたけしさんの小説『浅草キッド』のパクリというかもーじゅなんですよ。

——小説を書かれたきっかけは？

成井 芝居を見に来てくれた出版社の方に「成井さん、小説は書かないのですか?」と言われて、書きます、書かせてくださいということで、書いたのが『鮎のためいき』です。次の『まずいスー



祖父の師であり、文学座創設者 久保田万太郎生誕の地 句碑の前で  
 「ふるさとこの月のつゆけさ仰ぎけり」(台東区雷門1丁目)

へ入ったところでした。

——新作『おにたるかっぱ』(読売新聞  
 夕刊連載中)の舞台もあの辺りという設  
 定ですね。

戌井 ええ、三浦半島の小さな漁港に近  
 い家に住む、過去に1曲だけヒットソ  
 ングを出してから鳴かず飛ばずの中年  
 フォークシンガーの「父ちゃん」とその  
 妻「母ちゃん」、そして3歳の息子「た  
 る」君一家の話です。

——実際の戌井家がモデルなのですか？

戌井 私の息子も同じ3歳なので、子供  
 の表情や言動などのディテールには取り  
 入れています。話は机に彫られていた  
 「おにちゃん」と「かっぱくん」が出て  
 くる「たる」君の毎日を描いた、ちょっ  
 とヘンテコな、ユーモラスなものです。  
 40代後半で子供を授かった時がちょうど  
 コロナ禍だったので、それだけでなく職  
 業柄、家で過ごすことが多いのに、ほぼ  
 100%子育てに従事することになって、  
 生活も住まいもガラリと変わったことが  
 作品に大きく影響しているとは思いますが  
 でも単なる「子育て日記」ではなく、あ  
 くまで創作です。今年の2月に始まった  
 ばかりで、しばらく続きますので、是非  
 読んでみてください。

『プ』が芥川賞候補になって、その後はも  
 う候補の常連で、全て落選するのですが、  
 候補になると本を作ってもらえるんで、  
 それはそれでいいんですけど(笑)。

——写真に短い文を添えたフォトエッセ  
 イ集『沓(くつ)が行く。』は実に面白  
 い、新境地ですね。

戌井 あれは雑誌『ブルータス』の連載  
 をまとめたものです。それまでは写真な  
 ど撮ったことなかったのが、あの企画の  
 おかげで歩き回っているうちに目につい  
 たものをとにかく撮っておくようになり

ました。後になって写真を見ると、その  
 場の情景が鮮明に蘇ってきて、その時感  
 じたことを思い出しながら書き記してい  
 くのが楽しくなってきました。

### 新連載のモチーフは移住と長男誕生

——横須賀に住んでらっしゃるんですね。

戌井 以前から、湘南ののんびりライフ  
 に憧れていたのですが、鎌倉とか葉山は  
 家賃が高くて、探しているうちに行き着  
 いたのが横須賀に近い衣笠の少し山の方

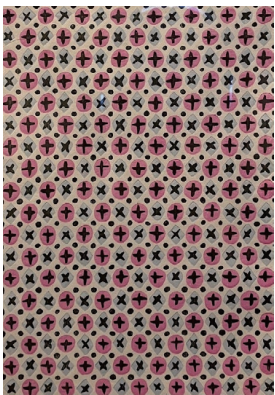
みちくさ  
写真帖  
Vol. 60



文・片山喜康



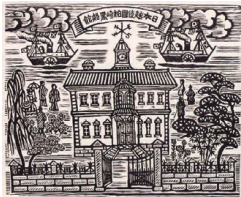
『浅草公園カジノ・フォーリー』(1930年 木版多色刷 紙)  
画中の舞台右端、カンカン帽にロイド眼鏡姿の人物がエノケン  
所蔵作品画像提供：鹿沼市立川上澄生美術館



『ろまんちっく手摺千代紙』  
(1935年 全20作 木版多色刷 紙)



『陽明門』  
(1929年 木版多色刷 紙)



『日本越後國柏崎黒船館』  
(1955年 木版墨刷 紙)



美術館の外観は左の「日本越後國柏崎黒船館」をモチーフにデザインされている

鹿沼市立川上  
澄生美術館を  
訪ねて

川上澄生の版画を初めて観たのは、雑誌別冊太陽の特集「一九二〇年代のモダン都市『新東京百景』を歩く」に掲載されていた『銀座』という作品で、その鮮やかな色合いと大胆な構図に驚かされた。

『新東京百景』とは、同誌掲載の海野弘の解説によれば1929〜34年に刊行された版画作品集のことで、川上澄生をはじめ、恩地孝四郎など新進の版画家8名が東京の新たな名所を描いた100点の作品が収められている。ここに描かれた東京は1923年の関東大震災により、「江戸」の名残りが払拭され、近代的な大都会へと大きく変貌を遂げた東京だ。

上掲の『浅草公園カジノ・フォーリー』は、当時人気絶頂だった喜劇王「エノケン」こと榎本健一が旗揚げした軽演劇劇団「カジノ・フォーリー」のCasino Foliesの舞台を描いたもの。川端康成の小説『浅草紅団』に取り上げられ話題となった。当時の浅草は映画やオペラといったモダンな、サブカルチャーの中心地だった。

学芸員原田敏行さんの案内で館内を巡る。2階に展示された『ろまんちっく手摺千代紙』は、M.C.エッシャーを思わせる幾何学模様や、更紗染織のようなプリミティブな柄もあり、その意匠はどれも色合いが美しく、可愛らしい。川上澄生が内田百閒の作品集の装丁や挿画も手がけていたことを思い出し、この版画家がデザイナー的な一面も持ち合わせていたことを再認識した。

作品に宇都宮や日光などを描いたものが多いのは、彼が1921年から栃木県立宇都宮中学校の英語教師として教鞭をとったからである。その時の教え子が、恩師の作品約2千点を蒐集し、同美術館の名誉館長も務めた長谷川勝三郎氏である。長谷川青年は川上先生の人柄に惹かれ、英語だけでなく木版画の指導も受けたという。師弟の交誼は恩師が77歳の生涯を終える1972年まで、約50年の間絶えることはなかった。

Profile:

●かたやま よしやす(ライター・編集者)  
東京浅草生まれ 向島で編集事務所を営むかたわら随筆・俳句を執筆。著書に『北斎さんぽ』『花と俳句の東京散歩』、監修作品に『浅草本』、編集作品に『桜の文学史』など。趣味は美術館、古書店、寄席巡り。最近では増田龍雨、畠山梓月、柴田寅曲などの明治期の俳句を読み漁っている。



鹿沼市立 川上澄生美術館  
栃木県鹿沼市睦町 287-14  
☎ 0289-62-8272 URL: <https://kawakamisumio-bijutsukan.jp/>  
開館時間：9:00～17:00(入館 16:30まで)  
休館日：月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始  
入館料：一般 300円、高校・大学生 200円、小・中学生 100円  
『雲の百面相展』 2024年4月13日～9月1日  
青空に浮かぶ白い雲が美しい季節にふさわしい  
川上澄生、榎方志功などの版画家が描いた『雲』の作品展



# 渡良瀬川の名勝 あかがね街道の街並みと



こんにちは、あずまです。今月は、特急りょうもう号に乗って、東武桐生線の終点「赤城駅」にやって来ました。ここは旅の最後に寄った「蔵人新字」(くらひと 新字)という、江戸時代から続く新字商店に残る土蔵群。その中にある六角堂ホールの屋上からの眺めです。蔵人(くらひと)とは、蔵とアート(kuravart)を繋げた造語です。かつての蔵はカフェや宿に生まれ変わっています。蔵出しの大量の陶磁器も販売していましたよ。(MAPのA)

## 今回の登場人物



葉平鉄男  
あずまの父親。  
食品会社に勤める、  
ジャズと歴史を愛する  
会社員



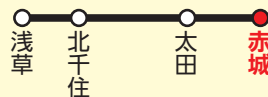
葉平あずま  
葉平家の長女。  
母親が経営する小学生向け  
の英会話教室を手伝う。  
趣味は旅行



東武桐生線の赤城駅。上毛電気鉄道 上毛線も乗り入れている。北千住駅から特急りょうもう号で約1時間40分。赤城駅の1.1km先には、わたらせ渓谷鐵道の大間々駅がある。1932年開設。

## 赤城 (あかぎ)

東武桐生線の終着駅で、浅草駅から特急りょうもう号が運行している赤城駅。群馬県みどり市大間々町にあり、駅前から大間々町の街並みが広がっています。大間々町は足尾銅山から発掘された銅を運ぶ銅街道の中継宿場町として、網や農産物の市場として栄え、商人たちは大きな富を築きました。その往時の面影を残す常夜灯や酒・醤油の蔵、洋館、商店などが浪漫的な雰囲気醸し出しています。





岡直三郎商店を左に曲がった路地の先に「三方良しの井戸」というものが。三方良しとは、売り手よし、買い手よし、世間よしという近江商人が守り続けてきた精神。災害時にも使用できるよう、岡商店は塀の外に井戸を掘ったんですよ。(MAPの©)



ここは、天明7(1787)年に近江商人が創業した醤油蔵、「岡直三郎商店」。木桶で天然醸造した「日本一しょうゆ」は、コクがあってまろやかな味に特徴。醤油ソフトクリームも美味しかったですよ。(MAPの®)



ランチに入った「旬彩きむら」さんです。和風で落ち着いた雰囲気の店内。私は天ぷら御膳を、父はきむら御膳をいただきました。御膳にはお蕎麦もついてきます！料理長お任せの日替わりランチも人気です。(MAPの®)



「みどり市大間々博物館(コノドント館)」です。縄文時代から近現代までを紹介する歴史展示室、農山村や商家の暮らしを伝える民俗展示室、そして恐竜コーナーのある自然展示室は大人気でした。(MAPの®)

大間々の街には、大正から昭和初期にかけて洋風建造物も普及しました。その代表格がみどり市大間々博物館「コノドント館」。赤煉瓦タイルと御影石を使った建物は、群馬県初の私立銀行・大間々銀行の本店として大正10年に建設。ちなみに「コノドント」とは、日本国内では昭和33年に大間々の研究者が最初に発見した、いまなお謎の多い微化石。

その常夜灯と同じくらい古くから商いをしていけるのは、醤油醸造の岡直三郎商店。創業時より変わらぬ木桶仕込み・天然醸造の暖簾をいまでも守り続けています。敷地には明治・大正期の店舗兼主屋や土蔵群が建ち並び、奥には古い煉瓦煙突。このほかにも大間々の街には、明治以降の蔵や町屋造りの店舗など貴重な建造物が数多く残されています。

赤城駅前から北へ延びる本町通りを中心にした街並みが、江戸時代の町割りに沿って続きます。街を歩き始めてまず目に付いたのが、街角に立つ石造の常夜灯。かつて本町通りの中央には堀川が流れていて、街区の境に5基の常夜灯が設置されていたそうです。電気がない時代の、いわば街灯です。明治になって堀は埋められ、常夜灯も撤去されましたが、平成になって5基のうちの3基が街に再設置されました。令和に残る江戸の生き証人。

## 大間々のまち歩きは 近代化遺産が見どころ



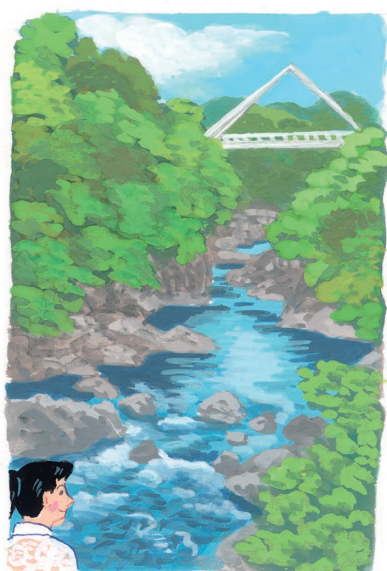
昭和の面影がたっぷり残る「ながめ余興場」です。催し物がない日は見学もでき(有料)、廻り舞台や花道、楽屋まで見られるようです。余興場のある「ながめ公園」は、秋の関東菊花大会でも有名です。(MAPの㉔)



大間々町の総鎮守「神明宮」です。境内の裏には渡良瀬川が流れています。境内からはまた、縄文式・弥生式の土器が出土。さらに、たたら製鉄の跡も見えられているようです。(MAPの㉕)



最後に寄ったのは、白い土蔵群が残る新名所、「蔵人新宇」です。ここは「cafe蔵ハ」。蔵出しの陶器で紅茶をいただきました。蔵の中に長い間眠っていた大量の陶磁器を売るお店では、可愛いお皿をゲット。父は洗めの抹茶茶碗を。掘り出し物だったかも！(MAPの㉖)



「関東の耶馬溪」と呼ばれる高津戸峡です。遊歩道は散策というには、上り下りがきつく大変でしたが、向こうに見える三角形の歩行者専用の「はねたき橋」を目指しました。景観はさすがに圧巻でした。(MAPの㉗)

渡良瀬川に架かる高津戸橋、または歩行者専用のはねたき橋を渡れば、川沿いに高津戸峡を縦断する遊歩道を散策することができます。また、渓谷の後方の要害山へ登る遊歩道もあり、展望台からは大間々々の街並みが一望。近代化遺産の街と高津戸峡の大間々々に、新たな観光スポット「蔵人新宇」が誕生しました。かつて陶磁器を扱っていた新宇商店の土蔵群を改修したカフェと宿泊施設がオープン。さらに「六角堂ホール」を建築。大間々々の人と観光客の、古くて新しい交流の場です。

大間々々の景勝地・高津戸峡は、郊外の山中ではなく、なんと市街地のすぐそば。大間々の「まま」とは、切り立った傾斜地・崖の意味で、大間々は渡良瀬川がつくった段丘に街が広がり、その対岸が渓谷になっているのです。街外れの「ながめ公園」へ。高津戸峡が眺望できることから名付けられた公園です。真下には渡良瀬川の清流。岸边近くには大間々町の総鎮守・神明宮の風格ある本殿が鎮座しています。そして川の対岸には「関東の耶馬溪」と讃えられる高津戸峡の緑(秋は紅葉)が広がっています。ながめ公園内の「ながめ余興場」は昭和12年建造で、廻り舞台や花道、2階席を備えた本格的な芝居小屋。催し物やイベントがない日は場内を見学できます。

## 渡良瀬川の水の侵食で 名勝・高津戸峡が生まれた



**赤城データファイル**

〈蔵人新宇(kurart ARAU)〉・・・●交通＝赤城駅徒歩16分 ●営業時間＝shop・cafe11:00～17:00(L.O.16:30) ●定休日＝月曜・火曜(祝日を除く) ☎カフェ 0277-46-8910 / ☎shop・蔵宿・六角堂0277-73-5656

〈岡直三郎商店〉・・・●交通＝赤城駅徒歩14分 ●営業時間＝9:00～17:00 ●定休日＝年末年始 \*仕込蔵見学無料。団体は要予約 ☎0277-72-1008

〈みどり市大間々博物館(コノドント館)〉・・・●交通＝赤城駅徒歩15分 ●開館時間＝9:00～17:00 ●休館日＝月曜(祝日の場合は翌日)、12/28～1/4 ¥一般200円/中小50円 ☎0277-73-4123

〈旬彩きむら〉・・・●交通＝赤城駅徒歩15分 ●営業時間＝11:30～14:30(L.O.14:00) / 17:00～22:00(L.O.21:30) ●定休日＝水曜、第3火曜 ☎0277-73-1234

〈ながめ余興場・ながめ公園〉・・・●交通＝赤城駅徒歩20分 ●営業時間＝9:00～16:00 ●定休日＝火曜(祝日の場合は翌日)、12/28～1/4 ●余興場見学料＝一般300円/中小150円 ☎0277-72-1968

〈美濃屋〉・・・●交通＝赤城駅徒歩9分 ●営業時間＝9:00～18:00(冬季は～17:00) ●定休日＝水曜 ☎0277-72-3069



新・駅前そぞろ歩記のバックナンバーは「マンスリーとーぶ」ホームページでご覧いただけます。

※このコーナーで紹介した内容は変更になる場合もございます。

**指をかざすだけで決済、ポイント付与、  
お酒の購入も可能なセルフレジを東武ストアで導入**

東武鉄道



詳細はこちら▷

東武鉄道と日立製作所は、財布やクレジットカード、スマートフォンを持たずに、指をかざすだけでお買い物やTOBU POINTの獲得が可能となるセルフレジを東武ストア越谷店・みずほ台店・新河岸店で順次導入しています。サービス登録時に本人確認をおこなうため、ご利用者は年齢確認なしでお酒の購入もでき、よりスムーズにお買い物いただけます。

ご利用の際はサービス専用登録サイトでの事前登録と、東武ストア対象店舗に設置されている登録カウンターでの指静脈情報の登録が必要です(登録カウンターの設置は期間限定です)。

東武グループでは、東武ストアの利用可能店舗を拡大するだけでなく、商業施設、ホテル、スポーツクラブなど幅広い分野への導入も計画中です。本サービスの取り組みを通じ、人々の生活をより豊かにする社会インフラの構築を推進していきます。

詳細は、東武鉄道 HP にてご確認ください。

**「新越谷ヴァリエ」2階、3階  
第Ⅰ期エリアリニューアルオープン！**

東武鉄道

東武スカイツリーライン 新越谷駅直結の商業施設「新越谷ヴァリエ」2階・3階第Ⅰ期エリアがリニューアルオープンしました。

新たにユニクロ、ジーユー、ABC-MARTといったデイリーユースの大型店が登場したほか、日常生活を彩る全19店舗がオープンしています。

3階には、越谷市をホームタウンとするプロバスケットボールチーム「越谷アルファーズ」とタイアップし、お買い物の合間の休憩にご利用いただけるシーティングスペース「+α LOUNGE (プラスアルファ ラウンジ)」を新たに設けました。同ラウンジには、選手のユ

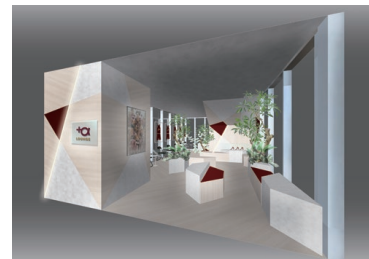
ニフォームやバスケットシューズ等を展示するなど、越谷アルファーズの情報発信・交流の場として活用してまいります。

また、本リニューアルに合わせ、環境に配慮した空調設備や照明に更新することで、CO<sub>2</sub>排出量を従前の37%とし、年間約313t-CO<sub>2</sub>の削減(一般家庭約100世帯分以上の年間排出量に相当)を見込んでいます。

2024年冬の2階・3階リニューアル第Ⅱ期エリアを見据え、今後も引き続き、環境にやさしく、お客様がお気軽にお買い物をお楽しみいただける施設を目指してまいります。



△新越谷ヴァリエ3階 (イメージ)



△「+α LOUNGE」(イメージ)

## お知らせ 鬼怒川エリアに駅チカのキャンプステーションをオープン！

東武鉄道

詳細はこちら▶



東武鬼怒川線 新高徳駅に近接する日光市高徳中岩河川公園に、約 70 組のみなさまが、手ぶらでも気軽にキャンプが楽しめる「日光たかとくキャンプステーション」がオープンしました。

浅草駅から電車で約 120 分、北千住駅から約 100 分の新高徳駅で降車して徒歩 2 分というアクセスの良さに加え、日光連山を望めるほか鬼怒川橋梁を渡る「スペース X」や「SL 大樹」等の列車鑑賞や汽笛を間近で楽しむことができる唯一無二のロケーションです。

場内にはキャンプ用品等のレンタル備品も充実しており、「電車で行く新たなキャンプのスタイル」として、キャンプ初心者の方でもお楽しみいただけます。



△キャンプ場の様子（イメージ）



△鉄橋を渡る SL 大樹

## お知らせ 「りょうもう『カルピス』EXPRESS」 運行中！

東武鉄道

長年にわたり多くの方に親しまれているアサヒ飲料の主要ブランド「カルピス」をイメージした白と青が基調の特別なラッピング車両「りょうもう『カルピス』EXPRESS」を運行しています。2027 年 3 月までの約 3 年間、検査日等の一部を除き、浅草～伊勢崎・赤城までの東武スカイツリーライン・伊勢崎線・桐生線で毎日運行し、沿線地域を「カルピス」の色に彩ります。

館林エリアに群馬工場と「カルピス 미래のミュージアム」を「地域共創」の拠点として構え、地域と「つ

ながる場」を構築することで地域貢献を目指すアサヒ飲料と、都心と群馬エリアを鉄道で結び「地域活性化を通じた沿線の持続的な発展」を目指す東武鉄道との双方の想いが合致し、今回の特別コラボが実現しました。

「りょうもう『カルピス』EXPRESS」で、ぜひ館林エリアにお出かけください。

運行スケジュールは、東武鉄道 HP でご確認いただけます。



※「カルピス」はアサヒ飲料株式会社の登録商標です。



## 「リアル桃鉄で沿線めぐり 東武 vs 近鉄 東西対決ですぞ〜！」を共同開催！

東武鉄道



イベントの詳細はこちら▶

東武鉄道と近畿日本鉄道では、8月18日(日)まで人気コンテンツ「桃太郎電鉄」(以下「桃鉄」)とコラボしたイベント企画「リアル桃鉄で沿線めぐり 東武 vs 近鉄 東西対決ですぞ〜！」を両社で共同開催中です。

本イベントは、専用アプリでサイコロを振り、実際に電車に乗ってサイコロの出た目の数だけ東武もしくは近鉄の実際の駅を巡ります。さらに、東西対決と題し、参加者はチーム東武とチーム近鉄のどちらかに所属して各チームの資産総額を競う団体戦もあり、勝利チームには、抽選で賞品をプレゼントします。

また、コラボグッズとして、本イベントのゲーム画面や参加券のデザインをあしらったクリアファイルも発売

します。

ぜひ、東武沿線で「桃鉄」の世界観をお楽しみください。

**期間：**4月19日(金)～8月18日(日)

**開催エリア(東武版)：**

- ・スカイツリーラインエリア 浅草駅～栃木駅・羽生駅
- ・東上線エリア 池袋駅～寄居駅
- ・アーバンパークラインエリア 大宮駅～船橋駅

**料金：**参加券 1,000 円

(お得なフリーきっぷと参加券のセットも用意しています)

※各駅を巡るため、別途運賃がかかります。



©さくまあきら © Konami Digital Entertainment



△クリアファイル3枚セット  
(1,000円)



©さくまあきら © Konami Digital Entertainment



## 「スペース X」が「iF デザインアワード 2024」を受賞！

東武鉄道

このたび、スペース X が「iF International Forum Design GmbH」が主催する「iF デザインアワード 2024」を受賞しました。

世界三大デザイン賞に数えられる「iF デザインアワード」は、優れたデザインの証として、国際的に権威ある賞のひとつです。

スペース X は Differentiation (他製品・サービスとの差別化) の項目において高い評価をいただき、Product および Public Transport 分野での受賞に至りました。

今後も、より多くのお客様に「特急の旅」をお楽しみいただけるよう、引き続きスペース X の上質なサービスの維持・向上に努めてまいります。





向島文化サロン  
国王と議会のイギリス史  
二人のエリザベス女王

東武博物館

テーマ① 大英帝国の起源

エリザベス1世の治世

時 6月16日(日) 14:00~15:30

テーマ② 戦後イギリスの苦悩と再生

エリザベス2世の貢献

時 7月21日(日) 14:00~15:30

講師 立教大学名誉教授 青木康



青木康氏

イギリスでは、千年以上王政が続ぎ、議会制のような現代政治の重要な仕組みを発達させてきました。四百年を隔て二人のエリザベス女王が君臨した歴史を見てみましょう。

定員 110名(応募多数の場合は抽選)

無料

東武博物館ホール(東武スカイツリーライン「東向島」駅下車すぐ)

応募条件 ①・②の講演は2回1セットの応募となります(個別の応募はできません)。

応募方法 ハガキに講演名、お客様の氏名(フリガナ)・年齢・郵便番号・住所・電話番号を記入の上、お申し込みください。

締切 5月15日(水)必着 ※当選者には約1週間を目途に、当選ハガキ入場券を発送させていただきます。

宛先 〒171-8512

東京都豊島区西池袋1-1-25

東武友の会「向島文化サロン」M係

☎03(59951)5248

主催 東武博物館

※ご応募いただきました個人情報は、当選ハガキ発送以外の目的で使用することはありません。東武友の会 検索



特別展  
「国宝・燕子花図屏風」  
—デザインの日本美術—  
5月12日(日)まで

東京・南青山 根津美術館

尾形光琳(1658~1716)筆の国宝「燕子花図屏風」に結実した装飾性やデザイン性は、工芸作品を含めた日本美術が古来内包してきたものです。「燕子花図屏風」を中心とした近世の作品を通して、デザインの観点から日本の美術を見つめてみましょう。

同時開催展は、「地球の裏側からこんにちは!—根津美術館のアンデス染織—」(展示室5)、季節の茶道具の取り合わせ「初風炉の茶」(展示室6)です。スムーズなご入館にはオンライン予約がおすすめです。詳しくはホームページで。



国宝 燕子花図屏風(右隻) 日本・江戸時代 18世紀 根津美術館蔵



複製 フェリノ模様  
ペルー・パラカス文化  
紀元前2~前1世紀 根津美術館蔵

根津美術館 検索 開館時間:10時~17時 \*5月8日(水)~12日(日)は19時まで開館/休館日:毎週月曜 (ただし5月6日(月・振休)は開館し、5月7日(火)休館)



輪島塗秀作展  
5月16日(木)~20日(月)10:00~19:00  
※最終日は18:00開場  
東武百貨店 船橋店  
6階イベントプラザ

塗り重ねる、堅牢優美な伝統技「輪島塗」。輪島は暮らして漆器作りが溶け込み、街全体がひとつの工房とも呼べる地です。漆器作りに必要な木材や、「輪島地の粉(珪藻土)」を産出する豊かな大地、漆の乾燥に適した気候にも恵まれ、輪島塗の発展はごく自然なものだったと言えます。

吸い込まれそうな漆黒と艶やかな朱色に代表される輪島塗は、道具として機能を引きつめ、芸術の域にまで進化させたつくり手たちの想いの結晶です。

本展では、日常のひとときにも、おもてなしに、長く使うに相応しい優美さと堅牢さを兼ね備えた漆製品を一堂に展示します。

丁寧に、深く味わう魅力を、この機会にぜひご堪能ください。



雄煮椀 溜塗 見返し絵変り草花蒔絵 5客1組  
径 14.9×高さ 10.5 cm 今井睦子 作  
1,210,000円(税込)



ミュージアム

特別展 時代とあゆむ袋物商 たばこ入れからハンドバッグまで

～たばこと塩の博物館

Ⓧ 6/30(日)まで 10:00～17:00  
 Ⓧ 月曜(5/6は開館)、5/7  
 Ⓧ とうきょうスカイツリー駅徒歩10分  
 Ⓧ 大人・大学生100円/高中小・65歳以上50円  
 ☎ 03-3622-8801

ステージ

すみだオペラ第11回公演

喜歌劇『メリーウィドウ』

～すみだトリフォニーホール

Ⓧ 5/26(日) 16:00  
 Ⓧ JR・東京メトロ錦糸町駅徒歩5分  
 Ⓧ S 7000円/A 6000円  
 ☎ すみだオペラ 090-2305-4635

コンサート

第181回東京芸術センター定期演奏会

伊東咲耶 ヴァイオリンリサイタル

～「天空劇場」東京芸術センター 21F

Ⓧ 5/18(土) 16:00  
 Ⓧ 北千住駅西口徒歩10分  
 Ⓧ 一般2000円/学生1500円  
 \*未就学児入場不可  
 ☎ 03-5354-4388

歌声カルテットの昭和歌謡コンサート

～和光市民文化センター サンアゼリア

Ⓧ 5/20(月) 14:00  
 Ⓧ 和光市駅徒歩13分  
 Ⓧ 全席自由2500円/当日券3000円  
 ☎ 048-468-7771

ギャラクシティ 30周年記念×あだちアートリンク  
 フェスティバル 1回目

ピアニスト白石光隆とゆかいな仲間たち!

～西新井文化ホール

Ⓧ 5/25(土) 13:00  
 Ⓧ 西新井駅徒歩3分  
 Ⓧ 一般1000円/高中小500円  
 \*未就学児入場不可  
 ☎ 03-5242-8161

ディズニー・オン・クラシック  
 ～夢とまほうの贈りもの2024

～サンシティホール

Ⓧ 5/25(土) 17:30  
 Ⓧ 新越谷駅徒歩3分  
 Ⓧ SS 12000円/S 8900円/A 7600円  
 \*未就学児の入場不可

☎ 048-985-1112

イベント

春日部大凧あげ祭り

～西宝珠花地先江戸川河川敷(宝珠花橋下流)

Ⓧ 5/3(金・祝)・5(日・祝)  
 Ⓧ 東武アーバンパークライン南桜井駅北口から臨時  
 直通バス、春日部駅・東武動物公園駅からバス  
 ☎ 春日部市観光振興課 048-736-1129

春季例大祭

～日光東照宮

Ⓧ 5/17(金)・18(土) \*流鏝馬神事は17日、  
 百物揃千人武者行列は18日  
 Ⓧ 東武日光駅からバス  
 ☎ 0288-54-0560

三社祭

～浅草神社

Ⓧ 5/17(金)～19(日)  
 Ⓧ 浅草駅徒歩7分  
 ☎ 03-3844-1575

アート

はしもとみお展

～時を刻むいきものたち～

～小杉放菴記念日光美術館

Ⓧ 6/16(日)まで 9:30～17:00  
 Ⓧ 月曜(5/6は開館)、5/7  
 Ⓧ 東武日光駅からバス  
 Ⓧ 一般730円/大510円/高校生以下無料  
 ☎ 0288-50-1200

シンフォニー・オブ・アート

～イメージと素材の饗宴

～群馬県立館林美術館

Ⓧ 6/23(日)まで 9:30～17:00  
 Ⓧ 月曜(5/6は開館)、5/7  
 Ⓧ 東武伊勢崎線多々良駅徒歩20分、館林駅から  
 バス  
 Ⓧ 一般620円/大高310円/中学生以下無料  
 ☎ 0276-72-8188

令和6年5月文楽公演 豊竹呂太夫改め

十一代目 豊竹若太夫襲名披露公演

～シアター 1010

シアター 1010 での国立劇場主催の  
 文楽公演。この公演では大名跡「豊竹若  
 太夫」が復活する。Aプロでは、まず  
 『寿柱立万歳』のおめでたい一幕。「襲  
 名披露口上」に続き、襲名披露狂言とし  
 て『和田合戦女舞鶴』。初代若太夫が初  
 演し、十代目も襲名披露狂言とした演目。  
 そして最後に『近頃河原の達引』。

Bプロは、源平合戦で勇猛を馳せた木  
 曾義仲の敗北と、その残党の後日譚を描  
 いた時代物『ひらかな盛衰記』(いずれ  
 も字幕表示付きの公演)。

なお襲名披露に向け、5/6(月・振休)  
 に西新井大師にて公演の成功祈願とお練  
 り、さらに西新井大師書院にて、ミニイ  
 ベント「二人三番叢」が上演される。

5月文楽公演

Ⓧ シアター 1010(北千住駅西口すぐ)  
 Ⓧ 5/9(木)～27(月) \* 15(水)は休演  
 (Aプロ)9～18日 = 11:00 / 19  
 ～27日 = 16:30  
 (Bプロ)9～18日 = 16:00 / 19  
 ～27日 = 11:00

Ⓧ 1等席 8000円(学生 5600円) /  
 2等席 7000円(学生 4900円)  
 ☎ 国立劇場チケットセンター  
 0570-07-9900(10:00～18:00)  
 \*インターネット購入  
<https://ticket.ntj.jac.go.jp>



和田合戦女舞鶴 市若初陣の段

\*このコーナーで紹介した催しものは変更になる場合もございますので、各お問い合わせ先にて事前にご確認ください。

## 抹茶 MATCHA でより健康に、より美しく！



注文してから一杯ずつ、目の前で点ててもらえるのは嬉しい！

最高品質の100%オーガニック抹茶を使ったドリンク・フードをカジュアルなスタイルで楽しむ「THE MATCHA TOKYO」の都内最大のショップが、3月14日に東京ソラマチ® 1階にオープン。世界中から訪れるお客様にも大人気です。

隅田川の流れや空と雲をイメージしてデザインされた長いカウンターには茶釜が置かれ、目の前で抹茶を点てるパフォーマンスも楽しめます。

ベーシックな抹茶や、抹茶ラテをはじめ、全品に使用されているのももちろん最高品質の100%オーガニックの抹茶。香り豊かで渋みが少なく、

### THE MATCHA TOKYO

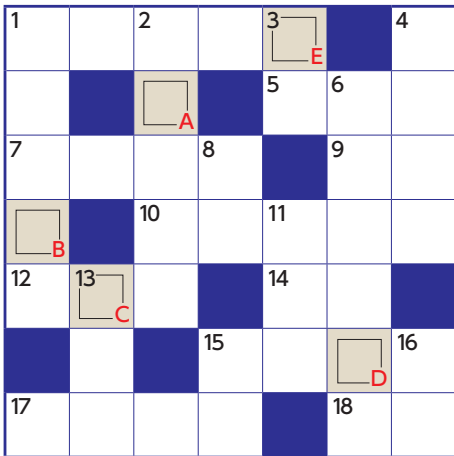
東京スカイツリータウンソラマチ店  
東京ソラマチ 1F イーストヤード 11 番地  
営業時間：9:00～22:00 (L.O. 21:30)  
お問合せ：info@the-matcha.tokyo  
URL：https://www.the-matcha.tokyo



初めて抹茶を飲む方にも美味しく味わっていただけること请け合いです。

抹茶ソフトクリームや抹茶アイスクリームなど、フローズンメニューも充実。香り豊かに焼き上げた抹茶フィナンシエなどのスイーツはソラマチ土産として、早くも大好評を博しています。

日本伝統の味、抹茶をカジュアルなスタイルで、新たな抹茶体験を！



### 【応募方法】

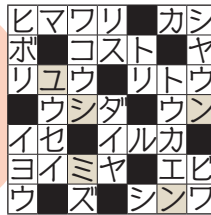
クロスワードの答えと住所・氏名・年齢・電話番号・本誌の入手先を書いて、以下の宛先へ。  
〒131-8522 東武鉄道広報部「マンスリークロス」係(住所不要)正解者の中から抽選で10名様に図書カードをプレゼントします。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。締切は5月20日(月)当日消印有効です。

※ご応募いただきました方の個人情報は、「マンスリークロス」当選者への賞品発送以外の目的で使用することはありません。

ホームページからもご応募いただけます。

マンスリーとーぶ 検索

### ★4月号の答え 「シュンミン」



## マンスリークロス

### 図書カードが当たる!!

※ヒントを読んでマス目をうめ、A～Eの文字をアルファベット順に並べてください。それが答え。

### ●タテのカギ

- 群馬県みどり市大間々博物館。愛称は〇〇〇〇〇館
- 東武スカイツリーラインの梅島駅と竹ノ塚駅の間にある〇〇〇〇〇駅
- みどり市大間々の新名所、〇〇が建ち並ぶ蔵人新宇
- みどり市の昭和を感じさせる建物。ながめ〇〇〇〇場
- 誇らしげで威勢のいいさま
- 験を担ぐ。「験」の読みは？
- 坂東太郎(利根川)、〇〇〇次郎(筑後川)、四国三郎(吉野川)
- 暦の上の夏の始まり。今年は5月5日
- みどり市大間々にある「三方良しの〇〇」
- 疲労や寝不足で目の下に〇〇が

### ●ヨコのカギ

- 5月29日は語呂合わせから「〇〇〇〇の日」
- 今期の次
- 優勝。監督を〇〇〇〇
- 役に立つこと。社会に〇〇する
- 本の最後に書いてあります。〇〇〇〇・落丁本はお取り替えいたします
- 神社の入り口にあつて、神域と俗界との境界を表している
- バットが〇〇を切って三振
- 〇〇〇〇足りて礼節を知る
- みどり市にある「関東の耶馬溪」と称される〇〇〇〇峡
- 見た目だけで判断せず、一度接してから判断しよう。〇〇には乗ってみよ人にはは添ってみよ

銘品

めぐり

文・片山喜康

伝統の名産品を訪ねる旅 その二

小川和紙  
埼玉県小川町（東上線 小川町）



「小川町和紙体験学習センター」の展示室には和紙でできた大きな折り鶴が！



浅岡さん(右)の指導で紙漉きに挑戦。水を含んだ漉桁(すげた)は意外に重たい



有機野菜食堂「わらしべ」(小川町駅から徒歩9分)  
小川町和紙体験学習センターに近く、小川町産の有機野菜料理と武蔵ワイナリーの無農薬・無添加ワインも楽しめる埼玉県比企郡小川町小川197 玉成舎1階  
☎0493-74-3013  
URL: <https://gyokuseishu.jp/shop/warashibe/>



門倉和紙店(小川町駅から徒歩2分)  
店内には小川和紙製品がいっぱい  
埼玉県比企郡小川町大塚1169-1  
☎0493-72-3939  
URL: <http://kadokura-washi.jp>



小川町和紙体験学習センター(小川町駅から徒歩10分)  
埼玉県比企郡小川町小川226  
☎0493-72-7262  
\*体験学習ご希望の方は上記の番号へお電話で

匠の技が生み、育んできた伝統の名産品の数々を東武鉄道に乗って巡る旅へいざ出発進行！

埼玉県小川町の「紙漉」は古くから農閑期の重要な副業であった。大消費地の江戸から近い小川町は、和紙作りに最適な槻川ツキガハの清らかな水にも恵まれ、最盛期には千軒を超す「紙漉屋」が立ち並ぶ和紙の大生産地となった。時代は移り、戦後になると需要は激減した

が、その技は脈々と受け継がれ、小川町の伝統的な和紙である「細川紙」は昭和53(1978)年に国の重要無形文化財に指定され、平成26(2014)年にはユネスコ無形文化財保護の条例一覧に「和紙・日本の手漉和紙技術」として記載された。

「小川町和紙体験学習センター」では後継者の育成に力を入れ、若い紙漉き職人も育ち

つつある。また、同センターでは広く小川和紙を知ってもらうために紙漉きが体験できるワークショップも開催している。体験希望者に懇切丁寧な指導をしてくれる、同センターの浅岡優素さん自身も、埼玉県伝統工芸士の資格を持つ紙漉き職人である。

「小川町の中学校では毎年3年生の夏休みに、賞状などに適した厚手の紙を漉く「溜漉き」という技法で、生徒さんたちに自分の卒業証書を漉いてもらう体験学習を行ってきました。おかげさまで今では埼玉県内の公立中学校の卒業証書のうち約9割が小川和紙製なんですよ」と笑顔の浅岡さんは誇らしげに胸を張った。

今号で紹介した内容は変更になる場合もございます。それぞれのお問い合わせ先にご確認ください。

マンスリートープ 2024年5月1日発行(毎月1日発行) 第899号  
発行 東武鉄道広報部 〒131-8522 東京都墨田区押上2-18-12  
東武鉄道お客さまセンター ☎03-5962-0102 ©東武鉄道 2024 Printed in Japan

※ QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。  
●表紙/ Takefumi Suzuki ※イラストはイメージです。

## 日々の暮らしを華やかに快適に。

春から夏への季節感ある華やかなフラワープリントに、  
Vネックと胸元からのタックでアクセントをプラス。着脱は簡単にかぶるだけのフリークロスタイプ。  
身に着けるだけでポジティブな気持ちにさせてくれる、エプロンです。

● [シビラカーサ]フリークロスエプロン(綿100%/日本製) 6,050円



東武百貨店 池袋店 6F 2番地 エプロン

※表示価格は「消費税込み」の価格です。※写真はイメージです。  
※写真と実物では色が多少異なる場合がございます。

# TOBU

池袋 東武

<https://www.tobu-dept.jp>  
豊島区西池袋1-1-25 千171-8512  
ナビダイヤル/0570-086-102  
通話料はお客様負担となります。



本誌は、①適切に管理された森林からの材料を含む FSC® 認証紙を用いて「森林資源保全」に、②石油系溶剤の一部を植物油に置き換えたインキを使用し光化学スモッグの原因となる VOC (揮発性有機化合物) を削減して「大気保全」に、③印刷・製本に用いる電力(1.254kWh)をバイオマス発電のグリーン電力で賄い「温暖化防止」に、④ご利用後に「印刷用の紙に再生できる」よう配慮して、⑤ GP 認定製品として製作・発行しています。ご不要になられました際には古紙回収にお出しく下さい。